宮城県気仙沼市

WASEDA University

宮城県気仙沼市 ＆ 早稲田大学
地域連携スタディツアー2026

地域連携スタディツアーとは

参加学生が地域の文化、産業、自然環境などを直接体験し、地域の課題や魅力を深く理解することを目的とした、早稲田大学と地方自治体が共同で企画する実践的な学びのプログラムです。

プログラムのなかで、自治体や地域住民、企業等との交流を通じて、設定されたテーマについて考察します。地域社会の現実的な課題に直面し、解決策を模索する経験を積むことで、今後の地域連携や地域貢献活動に役立つ「学び方を学ぶ」ことができます。このプログラムを通じて、自らの経験値を上げ、地域を見る目、地域の課題解決に対応する力をぜひ養ってください。

おススメのポイント！

- 観光やまちづくり、地方創生に興味のある学生におすすめ。
- 冬季ならではの地域資源を活かした観光誘客について、実践的に学びます。
- 観光施設や地域資源を訪問し、観光関係者へのヒアリングを通じて、現場の生の声に触れることができます。
- 地域の魅力や課題を捉え、冬季の観光誘客や市内周遊に向けた方策を考え、プレゼンテーションを行っていただきます。
- 副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域の対象プログラムです。

テーマ

冬季の観光誘客策を考える

～亀山テラス 360°-Kesennuma Oshima-を中心に～

気仙沼市には、海や山などの豊かな自然、四季折々の食、地域に根付いた文化・産業など、多様な観光資源があり，多くの観光客が訪れます。一年間の観光客の入込は春から秋にかけて来訪動機となるコンテンツが多いことも相まって，夏季が繁忙期で冬が閑散期となっており，年間を通じた観光誘客を図るためには、冬季ならではの地域資源の磨き上げや新たな観光コンテンツの創出、観光資源を組み合わせた周遊の促進、効果的な情報発信などに取り組み、冬季における観光の魅力をさらに高めていくことが求められています。

本スタディツアーでは、学生が実際に気仙沼市を訪れ、観光施設や地域資源の視察・体験、観光関係者等とのヒアリングを通じて、本市の観光の魅力や課題について理解を深めます。その上で、本年 7 月にオープンし，70 日間で累計 3 万人を集客した亀山山頂の新たな観光拠点「亀山テラス 360° -Kesennuma Oshima-」を中心に、市内の多様な観光資源を組み合わせながら、冬季に「気仙沼を訪れたい」「市内を巡りたい」と思ってもらうための観光誘客策について提案していただきます。

気仙沼市の魅力

豊かな海と山に抱かれた気仙沼市。このまちには、先人たちから受け継がれたスピリットがあります。リアスの海と緑豊かな山や川の恵みを享受していること。命の源である自然を大切に守ること。地域ならではの食文化と生活を育むこと。新しいものを受け入れ、多様性を尊重すること。自然を敬い、ともに生きること。これらのスピリットをまちの「誇り」として次代に伝え、ひとりひとりが心豊かに、自然と共生する。そんなまちの姿にふれ、気仙沼が見つめる未来を感じてみませんか。



募集概要

実施日程	2027年3月15日（月）から3月18日（木）　3泊4日
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生（修士課程）（学部、専攻、学年問わず） （留学生の場合は、日本語でのヒアリング、グループワーク、プレゼンテーションに対応できることを条件とする）
募集期間	2026年11月2日（月）～11月15日（日）23：59 [期間厳守]
応募条件	①2回のオンデマンド授業を視聴し、それぞれ課題を提出すること、②現地3泊4日の全日程に参加すること。③終了後に期限内にレポート提出すること、以上、3点を確約できる者。以上、3点を確約できる者。
募集人数	8名　※応募者多数の場合は、志望理由で選考します。
実施の流れ	①　12月と1月に各1回のオンデマンド授業を受講し、それぞれ課題を提出 ②　現地実習参加 ③　終了後にレポート提出
応募方法	① MyWASEDAの「お知らせ一覧」から「地域連携スタディツアー2026 春編」を検索 ②「地域連携スタディツアー2026 春編応募フォーム」から「申請」をクリック 必要事項（志望理由など）を入力して申請
選考方法	書類選考：結果通知は**2026年11月27日（金）までに申込時に記入したメール**にて通知します。 ※この日程前であっても、ご連絡することがありますので、よくメールを確認するようにしてください。また、当選者には、メールにて参加の意思確認をします。返信がない場合は無効になりますのでご注意ください。
注意事項	①　本スタディツアーは課外活動なので、卒業単位の対象ではありませんが、副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域に「1単位相当」として認定されます。 ②　2027年3月15日から4日の現地実習は、現地集合・現地解散で、**往復交通費は自己負担**です。 ＜交通費目安＞東京駅～気仙沼駅 片道　14,690円（東北新幹線＋大船渡線） ③　参加者が現地で負担する費用は、**宿泊費（3泊朝食付）で計24,000円のほか、初日の関係者顔合わせのための懇親会会費3,000円程度、昼・夕食費実費等です。** ＜宿泊場所＞気仙沼プラザホテル　〒988-0014 宮城県気仙沼市柏崎1番地1 ④　現地での移動は、気仙沼市からご支援をいただきます。 ⑤　現地では、本学教員と気仙沼市職員が引率します。 ⑥　現地実習の途中からの参加や早退は認められません。 ⑦　最終日の成果発表会（気仙沼市役所）で、チームで成果をプレゼンテーションしてもらいます。 ⑧　早稲田大学の学生補償制度（損害補償・賠償責任補償）に加入いただきます。費用は大学が負担します。 ⑨　現地実習実施日と重複する集中科目等を欠席した場合、公欠扱いになりません。 ⑩　参加確定後に、正当な理由なく参加を取りやめた場合、以後の地域連携スタディツアー、地域連携ワークショップ等に応募できないことがあります。 ⑪　【重要】本スタディツアーに参加が決定した場合、2027年2月から3月に募集予定の地域連携ワークショップ、および、企業連携ワークショップへの応募はできません。事前に各プログラムの特色などをご確認の上、応募してください。 ⑫　本スタディツアーでは連携先、大学がインスタグラム等公式 SNS を含む広報活動の目的で写真・映像を撮影します。掲載の際には個人特定されないよう十分注意いたしますが、あらかじめご了承ください。 ⑬　選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。
問合せ先	グローバルエデュケーションセンター　准教授　加藤基樹（motokato@waseda.jp） ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部／研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。

現地実習のスケジュール（予定）

日付	時間	内容
3 月 15 日（月）	11:44	気仙沼駅集合（参考：大船渡線　11 時 44 分着）
	12:00-12:40	気仙沼市役所にてオリエンテーション
	13:00-15:30	亀山テラス 360°（視察）→大島島内・ウエルカムターミナル付近散策
	16:00-17:00	市内宿泊事業者からヒアリング
3 月 16 日（火）	9:00-10:30	観光推進機構訪問（気仙沼地域戦略から観光の現状など説明）
	10:30-12:00	団体・企業ヒアリング①（施設運営関係企業等）
	13:00-14:30	団体・企業ヒアリング②（物販団体等）
	15:00-17:00	団体・企業ヒアリング③（体験関係団体等）
3 月 17 日（水）	終日	プレゼンテーション作成（時間があれば，チームでまちあるき可）
3 月 18 日（木）	9:00-10:30	成果報告会（プレゼンテーションと講評）
	11:00	気仙沼「海の市」訪問（土産購入可）
	12:15	気仙沼駅解散（参考：大船渡線 12 時 15 分発）

※上記は現時点での予定であり，天候や先方のご都合によって、変更が生じる場合があります

その他

副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域では、２単位相当を要件としています。
本スタディツアーは１単位相当なので、これだけでは不足しますが、地域連携スタディツアーは、夏休みと春休みに、それぞれ数カ所で実施しています。今後、複数のスタディツアーに参加して、それぞれの違いを感じながら、実践的に学んでいくことをおすすめします。